

# Forest通信 令和5年 5

No.411

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

巻頭  
Photo

高尾山のいきものたち

イカル

(アトリ科)



太く黄色いくちばしが目立つ鳥。全長が23cm程で、身体の大部分は灰色をし、頭や尾が光沢のある黒色をしている。羽の一部も黒色で、白斑がある。

主に樹上で生活し、餌は草木の実や種子などで、時には昆虫も食べる。頑丈なくちばしで、硬い実などを砕いて食べることができる。地鳴きは「キョッキョ」で、澄んだ声で「キコキコキー」などとさえずる。

繁殖期は5～7月で、つがいで生活し、高い木の枝に巣をつくり、巣の周りを縄張りとし、3～4個の卵を産む。夫婦仲がよく、雄雌がさえずりを交わし、共同で雛に給餌をする。秋冬には、群れになり、人里近くにもやってくる。高尾周辺の豊かな森は、一年中、木の実や種子が好きなこの鳥を育てている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

## FSS委嘱証明書交付式

高尾森林ふれあい推進センターが実施する森林教室や公募イベント等をサポートして頂く、森林ボランティア「フォレストサポートスタッフ (FSS)」の委嘱証明書交付式を4月15日(土)に実施しました。

今年度委嘱を決定した32名のうち23名の皆様に参加して頂き、出席者一人一人に当センター所長から委嘱証明書を交付しました。

フォレストサポートスタッフは、報酬なしのボランティア活動であるにもかかわらず、当センターが開催するイベントや森林教室に毎回ご協力を頂くなど、当センターにとっては欠かせない存在となっています。

コロナ感染症が落ち着き森林教室の依頼が増加傾向にあり、フォレストサポートスタッフの存在も益々重要となっています。今年度もフォレストサポートスタッフの協力を得ながら、より良い森林環境教育としていきたいと考えています。(瀬)





### ボランティアの力はすごい！

高尾山では実に多くのボランティアさんがいろいろな活動をされていると聞きます。団体での活動もあれば個人での活動も。内容も自然観察、環境教育、遊歩道点検・整備、清掃活動など様々。休日を返上して、あるいは仕事を休んで活動されている方々には本当に頭が下がる思いです。

当センターの関わりで言えば、本通信の令和4年9月号（No.403）で紹介した「フォレストサポート・高尾（FS高尾）」というボランティア団体に国有林の森林保全や当センターの活動支援を行っていただいています。昨年度は、当センターが行う森林教室や各種イベントの実施支援のほか、いろはの森遊歩道の整備（丸太階段設置、既設木製階段の保護剤塗布）、いろはの森の樹名板の取付け、森林保全のための間伐、森林教室で行う丸太切り体験のための材料搬出など、高尾の森林保全や環境教育活動の推進にとって非常に大きな力となっていただきました。

ボランティアの皆さんの熱意とパワーに心底驚くとともに、今年度もぜひ継続的なご支援をお願いいたします。（枝）



# 森林カレッジの受講生が決定いたしました。

当センター主催の森林カレッジの受講生が決定いたしました。応募いただいた皆様、ありがとうございました。集合時間や場所などの詳細は開催前に連絡いたします。

今年度の森林カレッジは以下の4回です。

## 【カレッジ春】

日程 令和5年5月20日（土）  
内容 講義「森林の見方」  
体験 森林散策  
講師 元日本森林学会会長 桜井 尚武 氏



## 【カレッジ夏】

日程 令和5年7月22日（土）  
内容 講義「森に学ぶ～森づくり  
ことづくり ひとづくり」  
体験 下草刈り作業  
講師 東京農業大学教授 宮林 茂幸 氏



## 【カレッジ秋】

日程 令和5年10月14日（土）  
内容 講義「木の成長としくみ」  
※講義のみとなります  
講師 元多摩森林科学園園長 三輪 雄四郎 氏



## 【カレッジ冬】

日程 令和6年1月13日（土）  
内容 講義「森林の恵みと共に  
～炭焼き、そして森林の香り～」  
体験 炭焼き作業  
講師 東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏



受講生の皆様へ

森林散策や下草刈りなど屋外での活動が主となります。初回開始前までに長袖・長ズボン等肌が露出しにくい服やトレッキングシューズ（スニーカー）など動きやすい靴、カッパ等の雨具、帽子、グローブ（軍手）等の準備をお願いします。また、コロナ罹患者の急増やその他荒天等により中止する回があるかもしれません。その場合は何卒ご了承下さい。

教育機関などからの依頼イベントの予約方法が変わりました！

## 森林教室・体験林業・職場体験・クラフト体験

「予約状況」は予約が入るたびに更新しているので必ず確認してください。

今まで電話のやりとりのみで、すれ違いや予約した、してないなどのトラブルもありました。お手間をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくおねがいします。

そうだ！  
山に行こう！



① イベントを依頼しよう



希望日空いてる！

② ホームページで予約  
状況を確認

③ 申請書をダウンロード  
して、今わかる範囲で入  
力した「仮申請書」を用  
意する。

まずは人数と  
実施日だね  
今まで口頭で  
やりとりしていた  
情報を書くよ

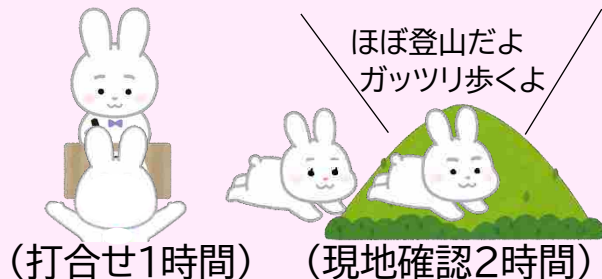


④ メールかFAXで提出しよう  
(可能であればメールを推奨。デジタル化へ向  
けて順次FAXは廃止の予定です。)



⑤ 電話で受付の可否を確認します。  
この時点で予約が成立します。  
**電話問合せだけでは予約できません**

⑥ 打合せ(と現地確認※森林教室のみ)  
を必ず行います。打合せ後正式な申  
請書を提出してください。



ほぼ登山だよ  
ガッツリ歩くよ

(打合せ1時間)

(現地確認2時間)

⑦ 当日は打合せのとおり体験しましょう！



究極のクラフト  
見せるぜ

山サイコー



依頼して良かった

### 編集後記

高尾山にも、若葉が新鮮でみずみずしい季節がやってきました。今年度も森林教室が始まります。子供たちの笑顔ももらって元気になりましょう。(皿)



ヤマウコギ

### Forest通信 NO.411

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先  
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail: ks\_takao\_postmaster@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

